

佐賀市「人権だより」

No.7

令和6年12月発行
佐賀市人権・同和政策課
Tel 40-7367 Fax 40-7327
E-mail jinken@city.saga.lg.jp

佐賀市では、全ての人の人権が尊重され、共に支え合い、共に生きることができる「共生社会」の実現をめざしています。人権だよりを通して人権問題に関心を持ち、理解を深めていただければ幸いです。ぜひご覧下さい。

「アンコンシャスバイアスについて」

(佐賀市社会人権・同和教育指導員)

「アンコンシャスバイアス」という言葉を知っていますか。「無意識の思い込み」とも訳されます。誰もが気づかずに持っている偏った見方や「考え方のクセ」のことです。

たとえば、女性職員に対して「あなたは小さいお子さんがいるから出張はほかの人をお願いするね」という言葉。思いやりや気遣いから発せられた言葉であっても、そこには「子どもがいる女性職員はきっと出張したくないはず」という「アンコンシャスバイアス」があります。「育児が大変だからよかった」と思う人もいる一方で、「夫と一緒に育児しているから問題ないのに」と思う人もいるかもしれません。

相手の可能性や生き方を狭めないためにも、「ふつうはこうだ」「きっとそうに違いない」と思うことの中に「決めつけ」や「押しつけ」がないかと、自らを振り返る必要があります。そのうえで、一人ひとりと対話し、相手を尊重する心の姿勢を持つことが、人間関係の改善につながります。

○アンコンシャスバイアスをチェックしてみよう

「固定的な性別役割分担意識」を例に、あなたの思い込みをシーンごとにチェックしてみましょう。YES と思う項目について、少しだけ立ち止まって考えてみてください。

Check 1

家庭・コミュニティー

- 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い
- 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ
- デートや食事のお金は男性が負担すべきだ



Check 2

職場

- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ



Check 3

その他

- 女性は感情的になりやすい
- 女性は論理的に考えられない
- 男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない

